



食品製造業におけるHACCPに関する実態調査

富士電機株式会社

2022年4月公開版

調査概要

調査目的

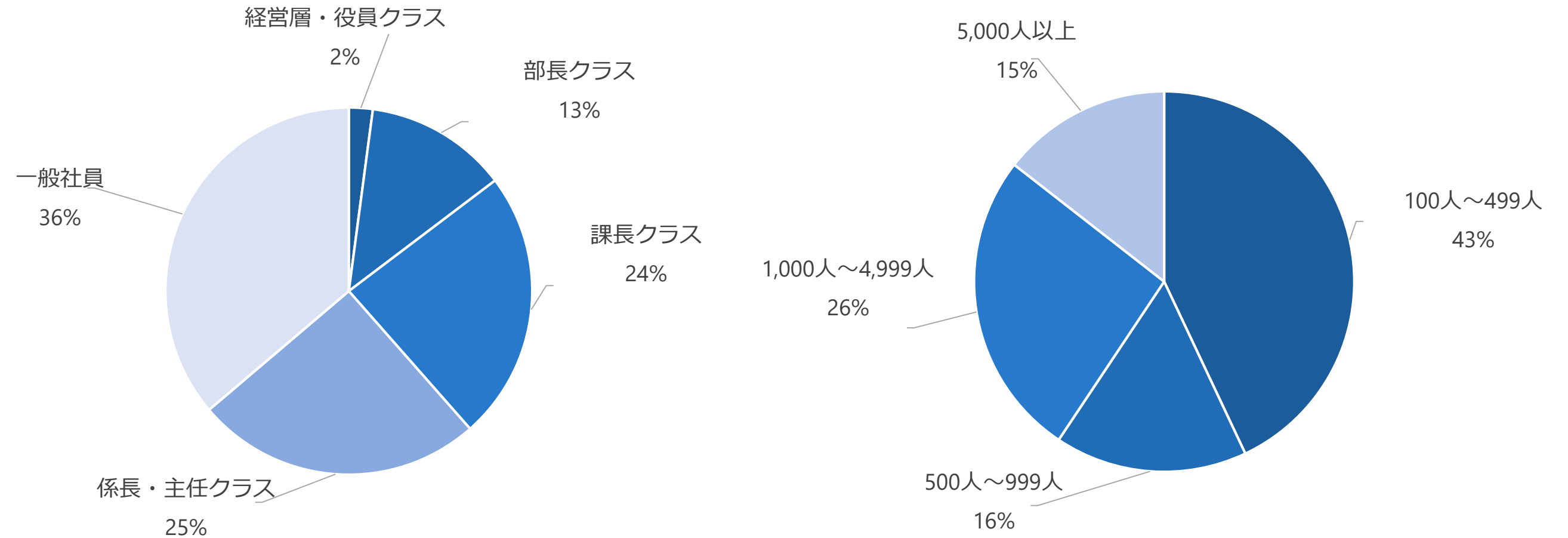
食品製造業におけるHACCPへの取り組み状況、導入効果・課題に関する調査

対象エリア

全国

調査対象者

- 対象者：食品製造業従事者



有効回答数

455人

調査方法

インターネット調査

調査期間

2021年10月28日～10月29日

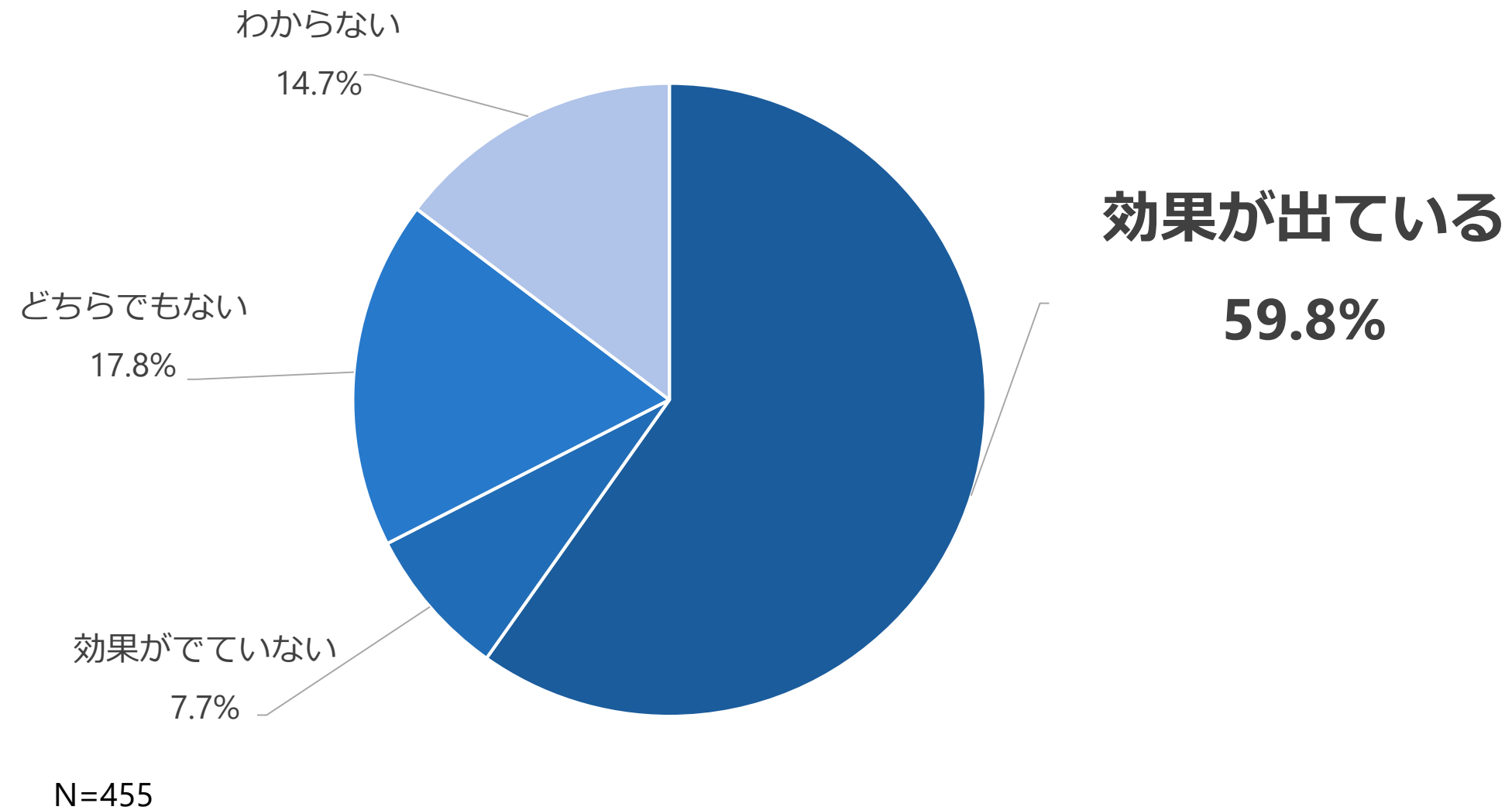
■ 調査項目

- HACCPに沿った衛生管理へ取り組んだことによる効果
- HACCPに沿った衛生管理を導入して得られた具体的な効果
- HACCPに沿った衛生管理業務・作業へのIoT/IT活用状況
- HACCPに沿った衛生管理を継続するうえでの課題
- HACCPに沿った衛生管理に関する問題・課題について（F A）

■ HACCPに沿った衛生管理へ取り組んだことによる効果

- HACCPに沿った衛生管理へ取り組んだことによる効果について「効果が出ている」と回答したのは全体の59.8%となった(図1)。
- 一方で「効果がでていない」が7.7%、「どちらでもない」が17.8%となった。
- 従業員規模別では、1,000人~4,999人で「効果が出ている」が全体と比べやや高くなっている。

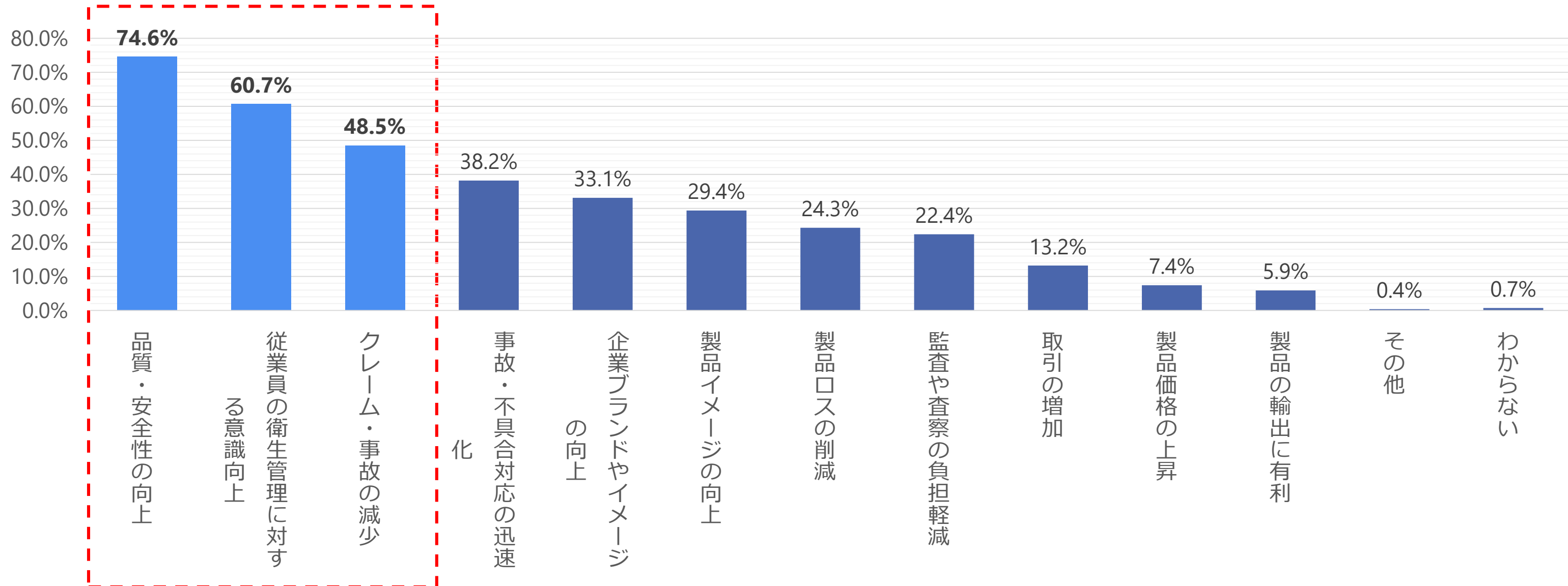
図1 HACCPに沿った衛生管理へ取り組んだことによる効果



■ HACCPに沿った衛生管理を導入して得られた具体的な効果

- HACCPに沿った衛生管理を導入して得られた具体的な効果についてもっとも回答が多かったのは「品質・安全性の向上」で74.6%、次いで「従業員の衛生管理に対する意識向上」で60.7%、「クレーム・事故の減少」で48.5%の順に続く結果になった(図2)。
- 従業員規模別では、100人~499人で「品質・安全性の向上」が全体と比べやや高くなっている。

図2 HACCPに沿った衛生管理を導入して得られた具体的な効果（複数回答）

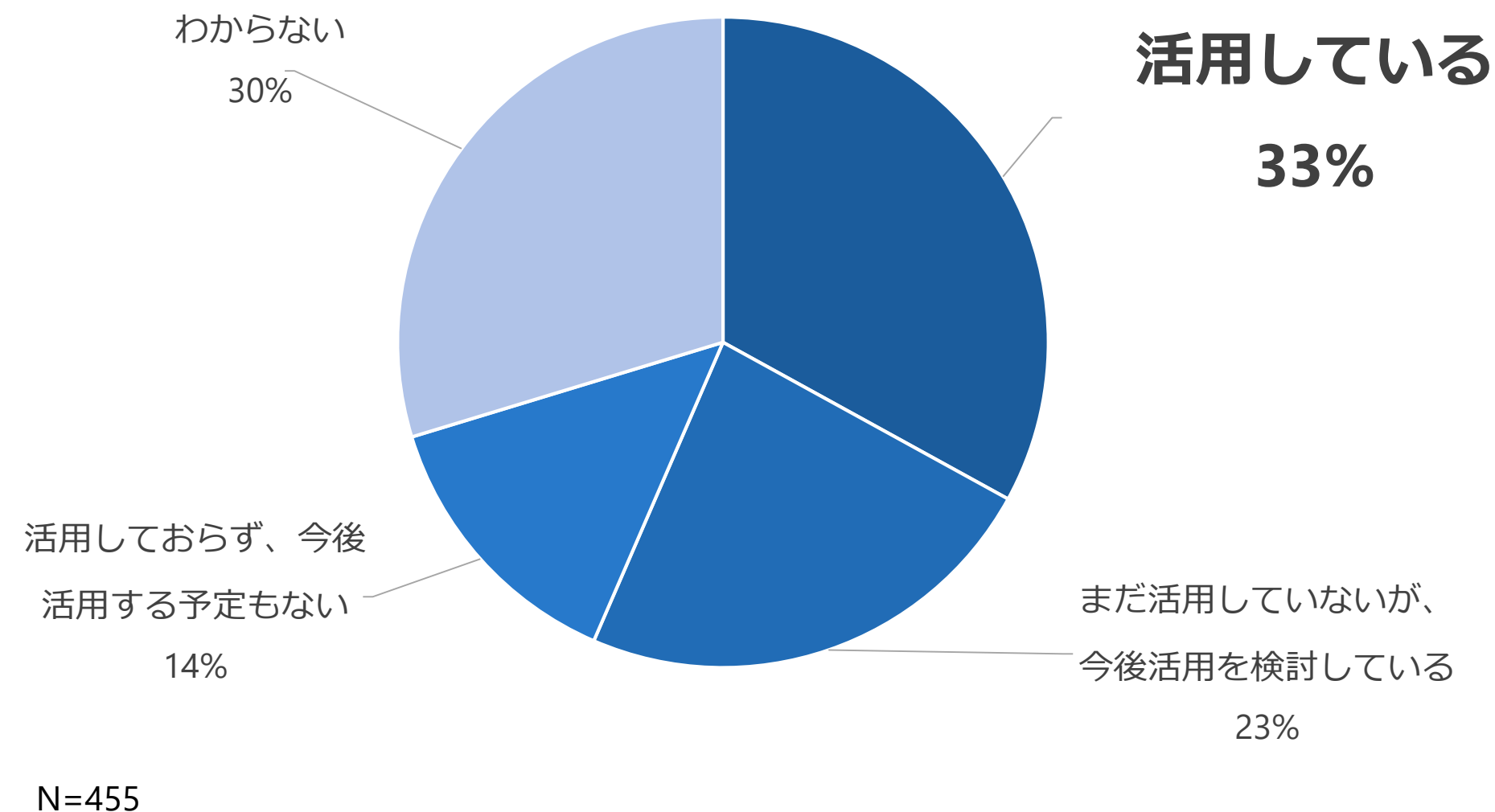


N=272

■ HACCPに沿った衛生管理業務・作業へのIoT/IT活用状況

- HACCPに沿った衛生管理業務・作業へのIoT/IT活用状況について「活用している」と回答したのは全体の33.0%、「まだ活用していないが、今後活用を検討している」が23.5%、「活用しておらず、今後活用する予定もない」が13.8%となった(図3)。
- 従業員規模別では500人～999人では「活用している」の回答は40.0%という結果になった。一方、従業員規模100人～499人では27.4%となり、取り組み状況に12.6%の差が開いた。

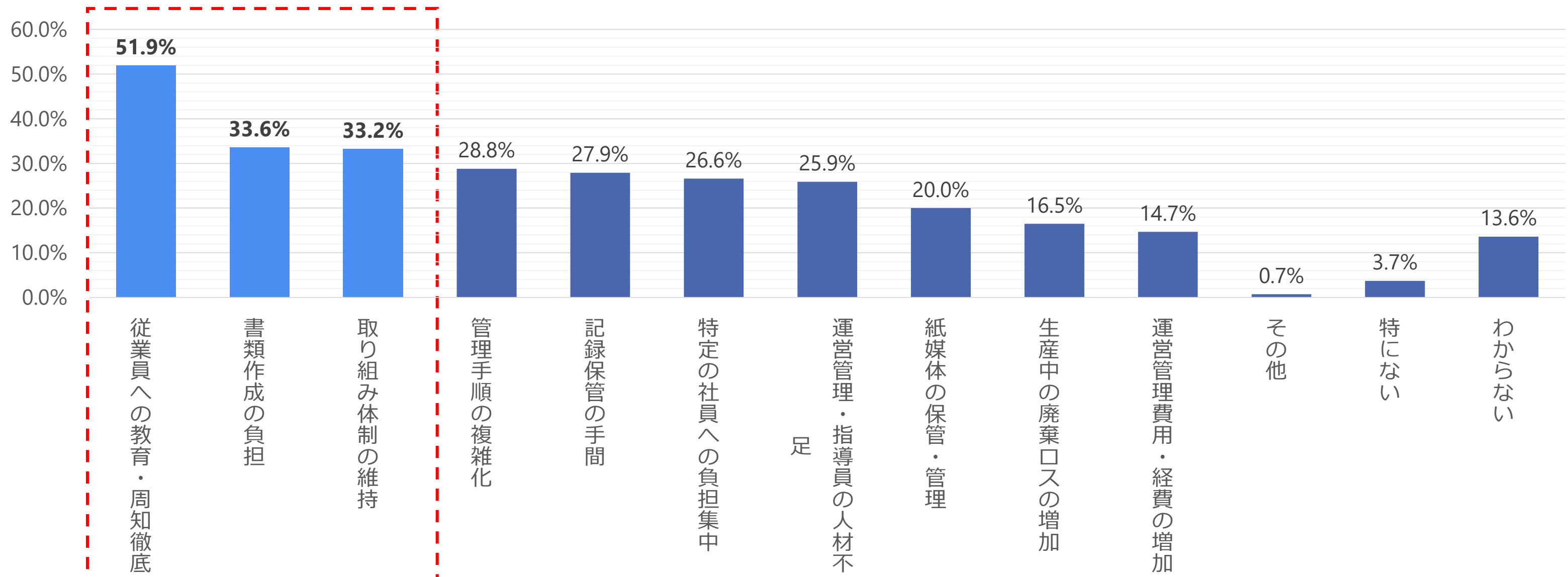
図3 HACCPに沿った衛生管理業務・作業へのIoT/IT活用状況



■ HACCPに沿った衛生管理を継続するうえでの課題

- HACCPに沿った衛生管理を継続するうえでの課題についてもっとも回答が多かったのは「従業員への教育・周知徹底」で51.9%、次いで「書類作成の負担」で33.6%、「取り組み体制の維持」で33.2%の順に続く結果になった(図4)。
- 従業員規模別では、100人~499人で「従業員への教育・周知徹底」が全体と比べやや高くなっている。
- 従業員規模別の集計では「書類作成の負担」が最も多かったのは100人~499人の回答で36.0%、最も少なかったのは5,000人以上で回答は27.4%となった。

図4 HACCPに沿った衛生管理を継続するうえでの課題（複数回答）



N=147

■ HACCPに沿った衛生管理に関する問題・課題について（F A）

HACCPに沿った衛生管理に関する問題・課題についてのF A（フリーアンサー）では、「意識改革」「記録作業の増加」「周知徹底」に関連する問題・課題が多くみられた（以下F A回答の抜粋）。

- 運用面での課題が多く、従業員への意識浸透と教育に負うところが大きい。
- ハザードを考えるのに一苦労している。本当に合っているのかわからなくて詳しい人もいない。
- 紙媒体の記録様式が増えて、世の中のペーパーレス化に逆行する。
- 製造業務以外の機械メンテナンス、保全作業に時間がかかっているのが課題。
- 従業員全員が同じスキルでも同じベクトルでもないので、差が生まれて共有が難しい。
- 継続的に承認を得るには、正しい知識を持った専任の担当者が必要。
- ISO9001やFSSC22000、HACCPに取り組んでいるのを社員は認識しているが、具体的内容は周知されていない。
- HACCPの管理・運営・記録などの業務が増え、本来の業務以外の面で仕事量が増えている。
- 紙媒体で未だに衛生管理をしているので、web内で全て完結できればより良いと思う。
- 文書、記録帳票の蓄積が、膨大になっており、管理が大変になってきている。
- 既に導入から時間が経っており形骸化しているため効果が薄れている。
- 従業員への意識の徹底が一番難しいまた、文章作成の手間が多い。
- 品質が保たれるのでいい状態を継続していくのが課題。
- 紙媒体の記録、保存が多く、保管場所が必要になる。
- 設備の老朽化でなかなか課題が解決できない部分が多い。

食品工場でIoTの導入・生産性向上をご検討中のお客様へ

食品工場・生産ライン・設備機器にこんな課題はありませんか？



労働者人口減
・人手不足



IoT化の推進
データ活用



突発的な設備故障
生産ロスの低減



自動化・省力化



ペーパーレス化
の推進

・食品工場のIoT化を進めたいが、どこからはじめていいかわからない。

・データの分析・解析が属人化しており、必要な人材も不足している。

・技能伝承が今後の課題だが、どのようなやり方があるかわからない。

・海外工場へのお出張に時間がとられ、本来すべきことに時間がさけない。

・工場全体の省エネを進めたいが、どこからはじめていいかわからない。

・IoTに取り組み、挫折した経験があり、取り組みがなかなか進まない。

・メンテナンスができていない、いつ故障するか分からない設備がある。

・生産設備の故障時に、十分な原因分析・対策ができずにいる。

・出張制限・移動ができない状況下であり、視察・監査ができていない。

・技術者が不足しており、機械故障時の対応に時間がかかっている。

・人材の確保が難しい一方で、人材の育成には時間がかかっている。

・点検・チェック作業にバラつきがあり、作業品質上の課題がある。

食品製造業界の製造活動を支える富士電機のソリューションで解決します

おすすめの食品製造業界向けソリューション

回転機故障予兆監視システム Wiserot



生産ラインや重要機器として稼働している、回転機の振動を定期的に計測することができます。

例えば回転機、ファン、ポンプ、発電設備、プレスなどの機械設備の「低周波の機械振動」「高周波のベアリング振動」及び「温度」を自動的に記録し、傾向を管理します。

これにより異常予兆を早期発見することが可能になり、適切な予防保全の立案、生産ロスコスト低減に貢献します。

遠隔作業支援パッケージ FWOSP-Glass



遠隔地の現場状況をリアルタイムで把握し、作業の指示や支援を行うことができるスマートグラスです。

作業員がFWOSP-Glassを装着することで、遠隔から映像を見ながら作業指示を伝えることができます。

現場では手順書を見ながらハンズフリーで作業可能で、さらに音声や動画によって作業を記録することもでき、保守・保全作業の負担を軽減します。

人材育成や人手不足などの課題に応え、これまでの働き方を変えるとともに業務の効率化を実現し、作業品質の向上、コスト削減にも貢献します。

導入実績一覧

飼料品・農林水産業A社様 高圧受電設備
 食品・農林水産業A社様 FAシステム
 食品/物流・倉庫業B社様 特高変電所
 食品/物流・倉庫業B社様 分散制御システム(DCS)
 食品/物流・倉庫業C社様 特高変電所
 食品/物流・倉庫業D社様 FAシステム
 飼料製造業A社様 高圧受電設備
 飼料製造業A社様 設備予兆診断システム
 飼料製造業B社様 高圧受電設備
 飼料製造業C社様 FAシステム
 食料品製造業A社様 特高・高圧受電設備
 食料品製造業A社様 分散制御システム(DCS)

食料品製造業A社様 生産管理システム
 食料品製造業A社様 トレーサビリティ管理システム
 食料品製造業A社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業A社様 MSPC (多変量解析システム)
 食料品製造業B社様 生産管理システム
 食料品製造業B社様 原料在庫管理システム
 食料品製造業B社様 原料計量・投入管理システム
 食料品製造業B社様 トレーサビリティ管理システム
 食料品製造業B社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業B社様 エネルギー監視システム
 食料品製造業C社様 エネルギー監視システム
 食料品製造業D社様 高圧受電設備

食料品製造業E社様 分散制御システム(DCS)
 食料品製造業F社様 設備予兆診断システム
 食料品製造業G社様 設備予兆診断システム
 食料品製造業H社様 FAシステム
 食料品製造業I社様 設備稼働監視システム
 食料品製造業K社様 設備稼働監視システム(MES)
 飲料製造業A社様 生産管理システム
 飲料製造業A社様 分散制御システム(DCS)
 飲料製造業A社様 トレーサビリティ管理システム
 飲料製造業A社様 設備稼働監視システム
 飲料製造業A社様 エネルギー監視システム
 飲料製造業B社様 特高・高圧受電設備

飲料製造業B社様 分散制御システム(DCS)
 飲料製造業B社様 生産管理システム
 飲料製造業B社様 設備稼働監視システム
 飲料製造業B社様 エネルギー監視システム
 飲料製造業C社様 異物検査装置
 飲料製造業C社様 キャップ検査装置
 飲料製造業D社様 ライン監視制御システム(DCS)
 食品包材製造G社様 生産管理システム
 食品包材製造G社様 設備保管理システム
 食品包材製造G社様 検査画像管理システム
 製薬業E社様 高圧受電設備
 医薬品業F社様 BIシステム 他多数

お問い合わせ

本資料に関するお問い合わせは下記URLよりお知らせください。

食品工場ソリューション公式Webサイト：

<https://www.fujielectric.co.jp/products/foodfactory/> 

富士電機株式会社

〒141-0032

東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー

営業本部 PA統括部 営業第4部1課